

1. 平成 24 年度の行財政改革実行プログラムの取り組み状況について

第 2 次行財政改革大綱（平成 24 年 3 月策定）を着実に推進するため、実施計画である行財政改革実行プログラムの進行管理を行いました。

初年度である平成 24 年度の実施状況は、次のとおりです。

主要方策の全体の進捗状況は、資料 4 「五泉市行財政改革実行プログラム主要方策実施状況一覧表」のとおりです。

【主要方策の実施状況について】

プログラムに掲げる「改革の方向性」毎の実施項目の実施状況は、次のとおりです。

改革の方向性	実施項目数	①完了	②実施中	③検討	④未実施
I. 事務事業の再編整理等推進	14	1	10	1	2
II. 民間委託等の推進	6		3	2	1
III. 組織・機構の見直しと人材育成	7		6	1	
IV. 給与の適正化	3	1	1	1	
V. 地方公営企業その他特別会計等の見直し	6			4	2
VI. 歳入増加策	9		7	2	
計	45	2	27	11	5

I. 事務事業の再編・整理等の推進（民間委託等の推進を含む）

○行政評価システム導入による事務事業の徹底した見直し

- ・事務事業評価表、施策評価表の作成と基礎研修を実施しました。

○補助団体の統合

- ・五泉公衆衛生協会と村松公衆衛生協会を統合しました。

○内部事務の見直し

- ・市政情報を素早く発信するため、フェイスブックの利用を開始しました。H25年3月から7月末の間に約64,000件の閲覧がありました。

II. 民間委託等の推進

○指定管理者制度導入の推進

- ・現在、さくらんど温泉及び農村環境改善センター、虹工房、あさひの家、さくらの里、福祉会館、さくらんど物産直売所、村松デイサービスセンター、村松観光開発会館、黄金の里会館の9施設について指定管理者制度に基づき運営しています。

○給食調理業務等の委託

- ・平成 24 年度から川東小・愛宕小の給食調理業務を民間委託しました。円滑に運営されていることから今後も計画的に拡大します。

○保育園の効率的運営の推進

- ・平成 24 年度に「保育園民営化実施計画（案）」を策定しました。民営化を予定してい

る すみれ、ひまわり、村松第3の各園の保護者を対象に説明会を開催しました。

Ⅲ. 組織機構の見直しと人材育成

◇定員適正化計画（H18年度～H23年度）

・目標職員数は平成18年4月1日現在の639人を、平成24年4月1日までに63人(9.86%)削減し576人としていました。結果は563人であり、定員適正化計画よりも13人多い削減数となりました。

(H24：人件費決算見込 38億4,108万円 → H25：人件費当初予算 38億3,093万6千円、前年当初予算比1.1%減)

《定員適正化計画と実績》

(単位；人)

部 門	区 分	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
一般行政	計 画	387	375	370	360	355	350	—
	実 績	383	366	350	340	333	336	337
	差 引	△4	△9	△20	△20	△22	△14	—
特別行政 (教育・消 防部門)	計 画	190	188	185	178	174	171	—
	実 績	192	187	182	177	173	168	168
	差 引	2	△1	△3	△1	△1	△3	—
公営企業 等会計	計 画	59	58	57	56	55	55	—
	実 績	59	59	58	60	61	59	59
	差 引	0	1	1	4	6	4	—
計	計 画	636	621	612	594	584	576	—
	実 績	634	612	590	577	567	563	564
	差 引	△2	△9	△22	△17	△17	△13	—

(各年度4月1日の職員数で教育長を含む)

○組織・機構改革の見直し

・事務の効率化を図るため支所組織を地域振興課と9の村松事務所から地域振興課の1課にまとめ3係（地域振興係、市民係、福祉係）として、支所の空きスペースを有効利用するため、上下水道局を本庁から支所へ移動しました。

○人事考課制度の活用

全職員を対象に、業績及び能力評価を行う人事考課を実施しました。

Ⅳ. 給与の適正化

○給与水準の見直し

- ・平成25年度から段階的に退職手当を削減することとしました。(例 H26.7.1以降勤続35年以上定年退職支給額 △9.69月分削減)。
- ・平成19年度から管理職手当を10%削減しています。(H24の削減額：1,068千円)

V. 地方公営企業、その他特別会計等の見直し

○水道事業経営の健全化

- ・給水人口に対して経費のかかる簡易水道を、安全で安定供給できる上水道に統合するため、配水管布設替工事、送水管新設工事を行いました。(川内簡水、戸倉・大蒲原簡水、高松簡水)

(一般会計から簡易水道事業特別会計への繰出金 H24 決算見込額：34,902 千円)

VI. 歳入増加策

○市税等の収納率の向上

- ・「新潟県地方税徴収機構」と連携し収納対策を実施しました。また、インターネット公売を実施し、平成 24 年度は 111 件の物品等を 807,666 円で売却しました (H24 年度現年課税分収納率 97.76%：前年比 0.58%増、未収入額：118,803 千円)。

○市有財産の有効活用 (未利用財産の売払い)

- ・宅地、旧道路敷等の売却を行いました (H24:765.36 m² 2,553 千円の収入、前年比 238.6%増)。
- ・平成 20 年 4 月から職員駐車場使用料を月額@500 → @1,000 円に見直しました (H24：2,429 千円の収入、前年比 3.1%減)。

○新たな財源の確保

- ・平成 19 年 6 月から広報紙とホームページへの有料広告掲載を実施しています (H24：143 件、1,696 千円の収入、前年比 7.5%増)。また平成 24 年度から市役所が使用する封筒にも有料広告を掲載しています (H24：2 件、100 千円の収入)
- ・平成 19 年度から水道事業管理者と覚書を交わし、一般会計へ退職手当負担金として繰り入れをしています (H24：26,055 千円の繰入、前年比 627.4%増)。

【財政効果について】

○歳入歳出差引額

平成 24 年度決算見込みにおける歳入歳出差引額は 8 億 5,821 万 7 千円ですが、翌年度に繰越すべき財源や財政調整基金積立額を含むため、実質単年度収支は 4 億 2,057 万 9 千円の黒字となります。

(単位；百万円)

歳入歳出差引額	翌年度に繰り越すべき財源	前年度の実質収支	財政調整基金積立額・地方債繰上償還額	財政調整基金取崩し額	実質単年度収支
858	16	771	350	0	421

(実質単年度収支の算出 858 - 16 - 771 + 350)

○歳入歳出の動向

平成 24 年度決算見込みと平成 23 年度決算との比較による、歳入歳出の動向

(歳入) 市 税：個人、法人市民税、都市計画税の増加により 1 億 6,523 万円増加 (+3.2%)
交付税：普通交付税の増加により 3 億 5,951 万 7 千円増加 (+5.2%)
国庫支出金：愛宕小学校舎新築工事費負担金、児童手当負担金の減により 6 億 6,106 万 7 千円減少 (△29.7%)

地方債：愛宕小学校充当債、借換債等の減により 5 億 3,103 万円減少 (△13.9%)

(歳出) 人件費：職員給の減により 1 億 0,125 万 3 千円減少 (△2.6%)

公債費：借換債の減により 3 億 7,272 万 7 千円減少 (△10.2%)

投資的経費：全体で 3,607 万 5 千円増加 (+1.2%)

- ・補助事業 愛宕小学校校舎等新築事業の減により 8 億 6,375 万 8 千円減少 (△56.7%)
- ・単独事業 総合保育園建設事業、五泉北中学校給食施設整備事業、愛宕小学校校舎等解体工事の増により 9 億 3,858 万 3 千円増加 (+75.3%)
- ・災害復旧事業 公共土木施設等の災害復旧工事の減により 3,743 万 4 千円減少 (△18.2%)

○財政調整基金、職員退職手当基金及び減債基金残高

平成 24 年度末残高

- | | | |
|-----------|-------------------|--------|
| ・財政調整基金 | 15 億 7,151 万 9 千円 | 28.7%増 |
| ・職員退職手当基金 | 2,439 万 7 千円 | 0.02%増 |
| ・減債基金 | 4 億 1,295 万 1 千円 | 51.6%増 |

○今後の財政運営における留意事項

実行プログラムの数値目標である実質公債費比率が地方債許可団体となる 18%以上とまらないよう地方債の新規発行を抑制するとともに、平成 28 年度以降の普通交付税減額にそなえ、平成 28 年度における財政調整基金残高を標準財政規模の 10%以上とします。

- ・平成 24 年度決算での実質公債費比率 15.2%
- ・平成 24 年度標準財政規模の 10% 13 億 2,756 万 8 千円

2. 平成 25 年度の行財政改革実行プログラムの取り組みについて

I. 事務事業の再編・整理等の推進

○財政面を考慮した総合計画の策定

- ・平成 24 年 3 月に策定した総合計画後期基本計画における進行管理を実施します。

○補助金・負担金の見直し

・平成 22 年度に補助金交付基準を策定し多くの要綱が平成 25 年度中に終期を設定しているため、要綱の改定にあたっては廃止も含めた終期の設定を考慮するとともに、運営費補助から事業費補助への転換を図る。また負担金については各種団体の会費等が主であり見直しが進んでいないため各種団体に働きかけを行います。

○施設の全般的な見直し

- ・適切な施設利用と管理費削減のため施設に関する分析調査を行い、管理運営のあり方や大規模改修・建て替えに併せた適正配置など総合的に検討します。

II. 民間委託等の推進

○指定管理者制度の活用

- ・現在 9 施設で指定管理者制度を導入していますが、さらに移行することが適切な施設があるのか、導入済みの施設運営に問題は無いのかを調査・分析します。

○使用料等の徴収業務委託の検討

- ・保育料などのコンビニ納付を検討し、納入者の利便性と収納率向上を図ります。

○業務の民間委託等の推進

- ・行政経費、行政資源の有効活用のため民間で行うことが効果的な事業については、積極的に民営化・民間委託の検討を進めます。

○保育園の効率的運営の推進

- ・平成 24 年度に策定した「保育園民営化実施計画（案）」を実施して保育サービスの拡充、保育園の統合又は民営化を進めます。

III. 組織機構の見直しと人材育成

○人事考課制度の活用

- ・人事考課マニュアルにより評価を実施していますが、結果を昇給及び昇格等の処遇に反映させるまでには至っていません。評価結果を処遇に反映させるために職員の意識向上と評価能力の均一化を図ります。

IV. 給与の適正化

○給与水準の見直し

- ・人事院勧告、県人事委員会勧告や県内のラスパイレス指数を基準に、適正な給与水準維持に努めます。

V. 地方公営企業、その他の特別会計の見直し

○一部事務組合の改革

- ・組合構成市町と運営効率化に向け協議するとともに、各事務組合の管理部門の一元化を検討します。

VI. 歳入増加策

○受益者負担の見直し

- ・公平性と自主財源の確保を目的とし、受益者負担のあり方について検討し、負担の見直しを図ります。

○市有財産の有効活用

- ・資産効率向上と自主財源確保のために、貸付料の見直しと売却が適当である財産の売却を進めます。

五泉市行財政改革実行プログラム主要方策実施状況一覧表

I. 事務事業の再編・整理等の推進

No.	主要方策	実施方針・期待効果	所管課	実施項目		H24	H25	H26	H27	H28	H29以降			
1	財政面を考慮した総合計画の策定	実施方針 総合計画「後期基本計画」の策定においては、成果指標を設けるとともに、財政シミュレーションに基づいた実効性のある計画とします。 期待効果 総合計画の進行管理が図られ、予算編成にも反映されます。	企画政策課	総合計画「後期基本計画」の策定	計画	実施								
					実績	実施(完了)								
					現状分析及び課題	H23年度に策定した後期基本計画の検証と、各施策の成果指標のH28年度目標値達成に向けた進行管理。								
				行政評価による進行管理	計画	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒			
				実績	継続実施									
				現状分析及び課題	「総合計画実施計画の事業」「事務事業評価事業」「予算事業」の名称を統一し進行管理を行っている。一方、予算編成での活用や評価シートの作成など業務負担の増加に対する意識改革が必要。									
2	行政評価システムを活用した事務事業の徹底した見直し	実施方針 事務事業評価、施策評価を実施し、予算編成への活用や総合計画の進行管理を図るとともに、職員のコスト意識を高め一般行政経費の削減に努めます。 期待効果 予算編成との連携により、「事務事業の再編整理」、「行政の説明責任や透明性の確保」、「総合計画の進行管理」、「次年度の重点施策の立案」等への活用が図られます。 また、行政評価システムの実施により、事務事業の再編・整理等が図られるとともに、経常経費の削減や、必要性・効果性の高い事	全課	行政評価システム活用の研究	計画	研究	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒			
					実績	研究								
					現状分析及び課題	事務事業評価・施策評価を毎年実施し、各施策・事務事業の優先順位付けは各課単位で実施している。今後、予算編成への活用等、更なる有効活用の方法を引き続き研究していく必要がある。								
				行政評価システムの実施	計画	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒			
				実績	継続実施									

業への財源投入、新規行政課題への対応が図られます。

現状分
析及び
課題

職員の事務事業評価・施策評価の能力は一定の水
準に達している。しかし、予算編成との連携など評
価結果の活用方法が明確でないため、行政評価に対
する職員のモチベーション向上に繋がっていない一
面もある。
そのため、行政評価システム活用の研究と合わせ
て継続実施していくことにより、職員の能力向上と
モチベーション維持を図っていく必要がある。

No.	主要方策	実施方針・期待効果	所管課	実施項目		H24	H25	H26	H27	H28	H29以降			
3	補助金・負担金の見直し	実施方針 補助期間の設定などにより、補助金の効果的な執行を図ります。 期待効果 市民団体等の主体性と自立意識の向上により、市民との協働のまちづくりが図られます。	企画政策課、 財政課	運営費補助金の見直し	計画	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒			
					実績	継続実施								
					現状分析及び課題	H22年度に補助金交付基準を策定し、補助目的の明確化と補助率の適正化を行い、事業費補助への転換を図っている。								
					負担金の見直し	計画	検討	⇒	団体説明	実施	⇒	⇒		
			実績	未										
			現状分析及び課題	各種団体への会費等が主であり、見直しが進んでいない。団体への働きかけを行う必要がある。										
			補助金の期間設定	計画	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				
				実績	継続実施									
				現状分析及び課題	H22年度に補助金交付基準を策定し、補助期間に終期の設定を行った。									
4	補助団体の統合	実施方針 旧市町にある共通の目的を持った団体等については、組織の統合を働きかけていきます。 期待効果 団体運営基盤の強化及び事務の効率化が図られ、補助金等の経費の削減が見込まれます。	関係所管課、 財政課、 企画政策課	補助団体の統合	計画	団体説明	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒			
					実績	一部実施								
				現状分析及び課題	H24年6月に五泉公衆衛生協会と村松公衆衛生協会の統合が図られた。補助金の削減には至っていないが、今後とも統合に向けた働きかけを行っていく。									

No.	主要方策	実施方針・期待効果	所管課	実施項目		H24	H25	H26	H27	H28	H29以降
5	入札制度の見直し	実施方針 建設工事等の入札について、最低制限価格制度の改正や総合評価方式の導入により施工品質を確保するとともに、請負業者の地域貢献を義務付けることで、総合的に施策の効果を高めます。 期待効果 入札における透明性・公平性の確保が図られます。	財政課	入札制度の見直し	計画	継続実施⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
					実績	継続実施					
					現状分析及び課題	五泉市建設工事請負業者等指名停止等措置要領（H18年度）、五泉市建設工事請負業者等指名停止等措置要領運用基準（H18年度）、五泉市建設工事一般競争入札試行要綱（H19年度）を策定し、一般競争入札を実施。					
6	施設の全般的な見直し	実施方針 本市のまちづくり全体の観点から、公の施設に関する分析調査を行い、管理運営のあり方（指定管理者・民営化など）や施設の大規模改修、建替えに併せた適正配置などを総合的に検討します。 期待効果 適切な施設利用・配置が図られるとともに、施設管理・運営経費の削減と市民サービスの向上が図られます。	企画政策課、施設所管課	施設配置の見直し	計画	継続実施⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
					実績	未					
					現状分析及び課題	ほぼすべての施設で民間委託を行っているが、施設の適正配置の検討は進んでいない。新市建設計画や、H23年度に策定した総合計画後期基本計画を踏まえ、各施設における今後の管理運営方針を策定する必要がある。					

No.	主要方策	実施方針・期待効果	所管課	実施項目		H24	H25	H26	H27	H28	H29以降	
7	内部事務の見直し	実施方針 内部事務の更なるICT（情報通信技術）化により、事務処理の迅速化、情報の共有化など業務の効率化を図り、適正な人員配置などの見直しを進めます。 市役所を訪れなくても、インターネットを活用した情報提供、電子申請等が利用できる効率的なサービス提供を進めます。 期待効果 ICT（情報通信技術）の活用による内部事務の見直しにより、経常経費の削減と、市民の利便性の向上が図られます。	企画政策課、総務課	ICT化の検討・研究	計画	検討・研究⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
					実績	検討						
					現状分析及び課題	H25年3月からフェイスブックによる情報提供を開始した。即時性・拡散性を有する新たな情報発信手段として定着を図りたい。 電子申請、セキュリティ対策（情報漏えい）などが持越しとなった。引き続き行政手続きのオンライン化、行政情報の充実、セキュリティ対策に取り組む必要がある。						
8	電算委託経費の適正化	実施方針 電算システムについては、システム棚卸を行い、外部の専門家も活用しながらシステムの最適化に努めます。 期待効果 システムの最適化により、経費の削減が図られます。	企画政策課	電算委託経費の調査	計画	継続実施⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
					実績	継続実施						
				現状分析及び課題	H22年度にシステム最適化計画を策定し、H23年度にサーバー・一部端末を更新した。機器、ソフトを整理し経費節減を図った。 今後もコストを抑えつつ安全で確実な電算システムの構築を図る。							
				外部専門家の活用	計画	随時実施⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
					実績	継続実施						
					現状分析及び課題	H21年度に外部専門家を活用して、近隣市を対象としたIT経費調査を実施し、H22年度に現状分析報告書、新情報システム最適化計画書を策定した。今後も必要に応じ外部専門家を活用し、経費削減につなげていく必要がある。						

No.	主要方策	実施方針・期待効果	所管課	実施項目		H24	H25	H26	H27	H28	H29以降
9	ごみ処理有料化の検討	実施方針 ごみの排出量の抑制や再利用・再資源化の推進、排出量に応じた負担の公平化及び市民の意識改革を進めるため、ごみ処理有料化の検討を行います。 期待効果 市民のごみ減量化に対する意識が高まり、ごみの発生抑制・減量化が図られます。	環境保全課	指定ごみ袋等の有料化	計画 実績	検討 検討	⇒	⇒	試行	実施	⇒
					現状分析及び課題	五泉市廃棄物減量等推進協議会においてごみ処理有料化については、減量意識が定着しつつあり処理量も減少傾向にあることなどから、再度の検討が必要との結論に至った。引き続き検討していく。					

II. 民間委託等の推進

No.	主要方策	実施方針・効果	所管課	実施項目		H24	H25	H26	H27	H28	H29以降
1	指定管理者制度の活用	実施方針 指定管理者制度に移行することで効果が見込まれる施設については、積極的に制度の導入を図ります。 期待効果 民間事業者等の能力活用により、施設の設置目的をより効果的に達成することが期待できるとともに、施設管理・運営経費の削減が図られます。	施設所管課、財政課	指定管理者制度の活用	計画 実績	継続実施 継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
					現状分析及び課題	9施設で指定管理制度を導入しており、一定の成果を得ている。 今後も更に各施設の運営内容を分析し、効果的に進める必要がある。					

No.	主要方策	実施方針・効果	所管課	実施項目		H24	H25	H26	H27	H28	H29以降
2	使用料等の徴収業務委託の検討	<p>実施方針 使用料等の徴収業務の民間委託の推進など、徴収方法の拡大を検討していきます。</p> <p>期待効果 徴収方法の多様化により、収納率の向上が図られます。</p>	関係所管課	使用料等の徴収業務委託の検討	<p>計画</p> <p>実績</p> <p>現状分析及び課題</p>	検討	方針決定 ⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
3	給食調理業務等の委託	<p>実施方針 給食調理業務等について、計画的に民間委託を進めます。</p> <p>期待効果 行政のスリム化、運営コストの抑制が図られます。</p>	学校教育課・こども課	給食調理業務等の委託	<p>計画</p> <p>実績</p> <p>現状分析及び課題</p>	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒

No.	主要方策	実施方針・効果	所管課	実施項目		H24	H25	H26	H27	H28	H29以降			
4	業務の民間委託等の推進	実施方針 行政が行っていた事業についての見直しを行い、民間で行うことが可能で効果的なものについては、職員数と業務のバランスにも配慮しながら、積極的に民営化、民間委託の検討を進めていきます。また、委託内容やその方法について見直しを進めていきます。 期待効果 業務の民間委託の推進により、行政運営の経費削減、行政資源の有効活用が行われ住民サービスの向上が図られます。委託内容等の見直しにより、委託料の削減が図られます。	企画政策課、総務課	外部委託指針の策定	計画	調査	策定							
					実績	調査								
					現状分析及び課題	外部委託についての素案を作成中。庁内での検討を踏まえて民間委託を進めていく必要がある。								
				外部委託の推進	計画			実施						
		実績												
		現状分析及び課題												
5	保育園の効率的運営の推進	実施方針 策定した五泉市保育園運営基本計画に基づき、保育サービスの拡充、施設の統合及び民営化等を進めていきます。 期待効果 施設の統合や拠点方式、民間活力の導入により、行政運営の経費削減や効率化が図られます。	こども課	保育園運営基本計画の実施	計画	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒			
					実績	継続実施								
					現状分析及び課題	H20年度に策定した「保育園運営基本計画」及びH24年度に策定した「保育園民営化実施計画（案）」に則して保育サービスの拡充、保育園の統合又は民営化等を進める。								

Ⅲ. 組織機構の見直しと人材育成

No.	主要方策	実施方針・効果	所管課	実施項目		H24	H25	H26	H27	H28	H29以降		
1	組織・機構改革の見直し	実施方針 複雑多様化する市民ニーズに迅速に対応するため、業務の効率化・意思決定の迅速化を図ります。また、組織の簡素効率化を基本に、行政需要に即応した組織・機構の見直しを行います。 期待効果 組織・機構の見直しを行うことにより、市民の多様なニーズに即応した行政サービスが提供できます。また、意思決定の迅速化、責任の明確化が図られます。	総務課	本庁・支所の業務の見直し	計画	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
					実績	検討・実施							
				現状分析及び課題	支所機能の見直しを行い、各課村松事務所体制から課を地域振興課1つとし、係を地域振興係、市民係、福祉係の3係体制とした。今後も市民ニーズに迅速に対応でき、市民が利用しやすい市役所づくりを進める。								
					計画	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
		実績	検討・実施										
		現状分析及び課題	支所機能の見直しを行い、各課村松事務所体制から課を地域振興課1つとし、係を地域振興係、市民係、福祉係の3係体制とした。また、支所の空きスペースを有効利用するため、上下水道局を本庁4階から支所2階へ移動した。今後も市民ニーズに迅速に対応でき、市民にわかりやすい組織にするため、検討が必要。										
2	人材育成の推進	実施方針 職員一人ひとりの意欲の向上を図り、その能力や可能性を引き出し、組織としての総合力を高めるための人材育成に努めます。 期待効果 多様化する行政課題への対応能力が高まり、市民ニーズに柔軟に対応できる組織づくりが図られます。	総務課	人材育成基本方針の実施	計画	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
					実績	継続実施							
				現状分析及び課題	H19年度に策定した人材育成基本計画の検証を行い、次期計画に向けて検討する必要がある。								
					計画	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
		実績	継続実施										
		現状分析及び課題	複雑多様化する市行政に的確に対応できる職員を養成するため、研修を実施し、また市町村総合事務組合などが実施する階層別・専門研修に職員の派遣を行った。引き続き、業務遂行に必要な基礎知識と技能向上、自己啓発の促進による資質の向上を図る。										

No.	主要方策	実施方針・効果	所管課	実施項目		H24	H25	H26	H27	H28	H29以降
3	人事考課制度の活用	実施方針 年功的な処遇を改め、職員の勤務実績、能力等を一定の評価基準で評価する人材育成型の人事考課制度の活用を図ります。また、評価結果を処遇（勤勉手当・昇給等）に反映させていきます。 期待効果 職員の資質向上と志気の高揚を図り、公務能率の向上が見込まれます。また、評価結果を昇給・昇格等各種処遇に反映させることにより、公平で公正な処遇を行うことが可能となり組織の活性化が図られます。	総務課	人事考課制度の活用	計画	継続実施⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
					実績	継続実施⇒					
				昇給及び昇格等に反映	計画	検討	⇒	⇒	実施	⇒	⇒
					実績	検討					
		現状分析及び課題	人事考課マニュアルに基づき、1年間を通しての評価を実施している。評価結果を人材育成に活用する。処遇に反映させるためには、職員の意識向上と評価者着眼点の均一化を図らなければならない。								
		現状分析及び課題	人事考課マニュアルに基づき、1年間を通しての評価を実施しているが、評価結果を昇給及び昇格等に反映させていない。結果を処遇に反映させるため、ルールづくりを行う必要がある。								
4	職員提案制度の活用	実施方針 財政健全化に向けた改革改善案など、職員提案制度を活用し職員の市政参画意欲の高揚を図ります。 期待効果 職員提案制度の活用により、職員一人ひとりが行財政改革の意識を持つことに繋がります。	企画政策課	職員提案制度の活用	計画	継続実施⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
					実績	継続実施⇒					
					現状分析及び課題	五泉市職員事務改善等提案制度実施要綱（H19年度策定、最終改正H22年度）により、事務改善等の職員提案を募っている。しかしながら、職員への周知不足もあり職員提案審査委員会がH22年度に開催されて以降、新たな提案は無い状況である。年一回程度、職員へ制度内容の周知をする等の手段を講じ、制度の活用を図る必要がある。					

IV. 給与の適正化

No.	主要方策	実施方針・効果	所管課	実施項目		H24	H25	H26	H27	H28	H29以降			
1	給与水準の見直し	実施方針 人事院勧告、県人事委員会勧告や県内のラスパイレス指数を基準に、適正な給与水準の維持に努めます。また、級別職務分類表の適正な運用を行い、人事評価による昇格制度への移行を図ります。 期待効果 人事院勧告や県人事委員会勧告を準拠することで、人件費の適正化が図られます。	総務課	人事院勧告や県人事委員会勧告による給与改定	計画	継続実施⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				
					実績	継続実施⇒								
					現状分析及び課題	人事院勧告、県人事委員会の勧告、県内のラスパイレス指数等を基準に適正な給与水準の維持に努める。								
				級別職務分類表に基づく適正な格付け	計画	継続実施⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				
					実績	継続実施⇒								
					現状分析及び課題	H22年度から格付けを見直し、職務職階制の適正な運用を図った。								
		人事考課による昇格制度の運用	計画	検討	⇒	⇒	実施	⇒	⇒					
			実績	検討										
			現状分析及び課題	人事考課マニュアルに基づき、1年間を通しての評価を実施しているが、評価結果を昇給及び昇格等に反映させていない。結果を処遇に反映させるため、ルールづくりを行う必要がある。										

V. 地方公営企業、その他の特別会計等の見直し

No.	主要方策	実施方針・効果	所管課	実施項目		H24	H25	H26	H27	H28	H29以降			
						計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
1	水道事業経営の健全化	実施方針 策定した「五泉市水道事業統合計画」「五泉市水道ビジョン」に基づき、水道料金の統一と見直を図るとともに、H28年度までに簡易水道との経営統合を行います。 また、業務の効率化とコスト縮減を目的に民間委託の検討を進めていきます。 期待効果 水道事業の安定的・計画的な経営が図られるとともに、経常経費の削減が図られます。	上下水道局	水道料金の見直し	計画	検討	実施	⇒	⇒	⇒	⇒			
					実績	検討								
				現状分析及び課題	五泉市水道事業統合計画・簡易水道事業統合計画（H20年度）、五泉市水道ビジョン（H21年度）を策定し具体的な施策、行程等を決定した。H28年度に異なる料金体系を統一予定。									
				民間的経営手法の検討	計画	検討	⇒	⇒	⇒	⇒	方針決定			
実績	検討													
現状分析及び課題	策定した五泉市水道ビジョンの着実な実施を図る。計画的な施設等の更新を行うとともに民間の長所・ノウハウを活用し、経費の削減を図る。													

No.	主要方策	実施方針・効果	所管課	実施項目		H24	H25	H26	H27	H28	H29以降
2	下水道事業経営の健全化	<p>実施方針 現行水準の下水道使用料では、経常経費を賄うことができない状況となっています。 下水道事業の経営健全化に関する施策に基づき、経営の安定化を図り、下水道使用料の見直しについては引き続き検討を行います。</p> <p>期待効果 下水道事業の安定的・計画的な経営が図られるとともに、自主財源の確保が図られます。</p>	上下水道局	下水道使用料の見直し	計画 実績	検討 検討	⇒ ⇒	⇒ ⇒	⇒ ⇒	⇒ ⇒	実施
					現状分析及び課題	下水道使用料については、H18年の合併の際に旧五泉市と旧村松町で異なる料金を統一したことから、H21年度実施予定の料金改定を見送り、現在に至っている。 H23～24年度にかけて有収水量の鈍化に伴い、経常経費を料金収入で賄う水準には達しておらず、経営環境が一層厳しい状況にある。 今後、早期整備区域の管渠の老朽化等に対する維持管理経費の増加や消費税増税等が見込まれるため、これまで以上に、費用対効果を勘案した事業計画と適正な料金水準の見直しが課題である。					
3	簡易水道事業経営の健全化	<p>実施方針 策定した「五泉市水道事業統合計画」「五泉市水道ビジョン」に基づき、水道料金の統一と見直を図るとともに、H28年度までに上水道との経営統合を行います。</p> <p>期待効果 事業統合することにより、経常経費の縮減や安定給水が図られます。</p>	上下水道局	水道料金の見直し	計画 実績	検討 検討	実施 ⇒	⇒ ⇒	⇒ ⇒	⇒ ⇒	
					現状分析及び課題	五泉市水道事業統合計画・簡易水道事業統合計画（H20年度）、五泉市水道ビジョン（H21年度）を策定し具体的な施策、行程等を決定した。H28年度までに上水道との経営を統合予定。					

No.	主要方策	実施方針・効果	所管課	実施項目		H24	H25	H26	H27	H28	H29以降				
4	一部事務組合の改革	実施方針 組合の管理運営に関する分析調査を行い、組合構成市町との協議を進め、指定管理者制度や民間委託等の民間的経営手法の導入により組合運営の効率化を目指します。 また、組合構成市町との調整を行い、各事務組合管理部門の一元化を図り、事務の効率化と職員数の削減を進めます。 期待効果 組合運営の効率化により、市町村負担金の削減が図られます。	企画政策課	民間的経営手法の導入	計画	検討	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				
					実績	未									
					現状分析及び課題	組合構成市町との調整が難しく未実施。									
				一部事務組合事務部門の統合	計画	検討	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				
					実績	未									
					現状分析及び課題	組合構成市町との調整が難しく未実施。									

VI. 歳入増加策

No.	主要方策	実施方針・効果	所管課	実施項目		H24	H25	H26	H27	H28	H29以降				
1	市税等の収納率の向上	実施方針 市税等の課税客体の適正な把握に努め、収納の確保対策について目標数値を設定して、収納率の向上を図ります。 現年度課税分については、口座振替制度の推進・継続や公金収納の多様化などにより、前年度対比0.3ポイントの向上を目指します。 低迷している滞納繰越分については、新規滞納発生の防止を図るとともに、滞納整理体制の強化、新潟県地方税徴収機構との連携などにより、滞納整理の一層の推進を図ります。 期待効果 自主財源の確保とともに、税負担の公平性が図られます。	税務課、関係所管課	課税客体の適正な把握	計画	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				
					実績	継続実施									
					現状分析及び課題	市民税の未申告調査の実施や、固定資産評価額は、課税客体の適正な把握と正確な評価を行う。 また、納税者の状況を把握することにより早期の取り組みを行い、収納率の向上に努めている。									
								公金収納の多様化	計画	検討	⇒	実施	⇒	⇒	⇒
									実績	検討					
					現状分析及び課題	納税者の利便性を図るため、コンビニ、ゆうちょ銀行での納付について、H26年4月のサービス開始に向け、導入準備を進めている。									
				滞納整理体制の強化	計画	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				
					実績	継続実施									
					現状分析及び課題	県と県内市町村で構成する新潟県地方税徴収機構（H21年度設立）で、個人住民税を中心とした地方税の滞納整理に当たるほか、徴税吏員の徴収技術の向上を図り収納率の向上を目指している。 また、インターネット公売などの実施により滞納整理の一層の推進を図る。									

No.	主要方策	実施方針・効果	所管課	実施項目		H24	H25	H26	H27	H28	H29以降				
2	受益者負担の見直し	実施方針 公の施設に関する分析調査を行い、受益者負担のあり方について総合的に検討し、負担の見直しを図ります。 期待効果 受益者負担の公平性の確保とともに、自主財源の確保が図られます。	施設所管課、企画政策課	受益者負担の見直し	計画	検討	実施	⇒	⇒	⇒	⇒				
					実績	検討									
現状分析及び課題						受益者負担についての素案を作成中。庁内での検討を踏まえ負担の見直しを図る。									
3	市有財産の有効活用	実施方針 普通財産の仕分を進め、売却が適当である財産は売却を進め、維持管理を継続すべき財産のうち、貸付が可能なものについては、貸付料の見直しを図ります。 また、行政財産について、その用途又は目的を妨げない限度において、有償貸付を進めます。 期待効果 資産効率の向上とともに、自主財源の確保が図られます。	市有財産所管課	売却の推進と貸付料の見直し	計画	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				
					実績	実施									
				現状分析及び課題						景気の低迷や立地等により売却は進んでいない。宅地の隣接地など潜在的な需要に応じていく。					
				職員駐車場使用料の見直し	計画	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒					
					実績	継続実施									
				現状分析及び課題						H20年度に月額500円を1,000円に見直した。近隣他市の実態を調査し見直しを検討する。					
行政財産の有償貸付の推進	計画	検討	実施	⇒	⇒	⇒	⇒								
	実績	実施													
現状分析及び課題						景気の低迷や立地等により有償貸付が進まない。									

No.	主要方策	実施方針・効果	所管課	実施項目		H24	H25	H26	H27	H28	H29以降
4	企業誘致の推進	実施方針 村松第二工業団地の売却可能面積は、10,890㎡あります。 公害のない産業を選び、企業誘致に向けて積極的に働きかけを行います。 期待効果 雇用の創出と市税の増収が図られます。	商工観光課	誘致活動の実施	計画 実績	継続実施 ⇒ 継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
					現状分析及び課題	H23年度、H24年度の2カ年で企業へのアンケート調査を行い設備投資計画の有無など調査。 今後、結果をもとに企業への訪問活動を行う。 ※H25年5月に村松工業団地に1社進出。					
5	新たな財源の確保	実施方針 広報「ごせん」や市ホームページなどへの企業広告の掲載、封筒の空きスペースを利用した有料広告の掲載、施設命名権の財源化等、新たな広告料収入の確保を図ります。 期待効果 新たな広告収入により、自主財源の確保が図られます。	総務課・企画政策課・関係所管課	広報紙等への有料広告掲載	計画 実績	継続実施 ⇒ 継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
					現状分析及び課題	H19年度から広報「ごせん」やホームページへの有料広告の掲載を実施。 H24年度から市名入り封筒の有料広告の掲載を実施。					